

タイツリオウギ

Astragalus membranaceus Bunge

マメ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

多年生草本。茎はあまり枝分かれせず、高さは40~70cm。葉は奇数羽状複葉で、小葉は17~21枚、両面に白軟毛がある。総状花序は密に5~10花をつけ、花は黄白色。豆果は長さ3~4cm、著しく膨らんで先が尖り、長い果柄の先に垂れ下がる。

国内分布

北海道、本州(中部地方)。

県内分布

白山高地区。

生態など

花期は7~9月。膨らんで下がる果実の様子を、釣り上げられるタイに見立てて和名がつけられた。

生育環境

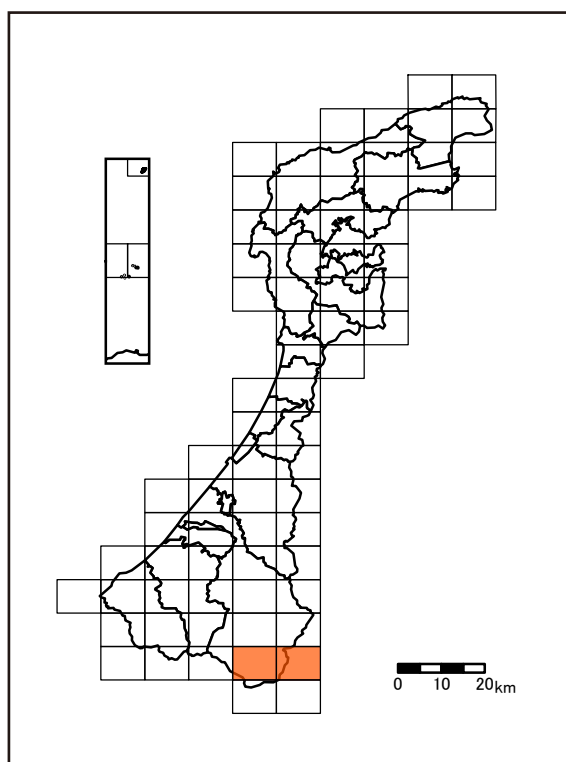
主に亜高山帯から高山帯の草原。

危険要因

自然遷移、産地局限、その他(砂防工事)。



白井伸和・2006年8月12日・白山



県内の分布